

「わたしの好きな歌」

岡原真弓、萩京子の「ソング」を歌う

■ 曲目

ブレヒトの詩によるソング

クルト・ヴァイル (バルバラソング 他)

ハンス・アイスラー (商人の歌 他)

林 光 (暗い晩 他)

萩 京子 (朝に晩に読むために 他)

ブレヒト以外の詩によるソング

林 光、萩 京子 作曲

■ 日時

2023年11月20日(月)

18時～20時(含アフタートーク)

■ 場所

神戸大学鶴甲第二キャンパス

C111(C棟1階)

■ 要予約・入場無料

ご予約・お問い合わせ

神戸大学人間発達環境学研究科 音楽文化史研究室 大田美佐子 (misahta@kobe-u.ac.jp)

出演者紹介



岡原真弓(歌)

1963年生まれ。大阪芸術大学演奏学科声楽専攻卒業。卒業後、大阪のアムジーミュージックオフィスで小編成のオーケストラと公演活動を行う。

1988年オペラシアターこんにゃく座に入座。こんにゃく座のオペラ『セロ弾きのゴーシュ』の楽長、『森は生きている』のおっかさん、『夏の世の夢』のタイテーニア、『まげもん』のお春、『ネズミの涙』のおっかあ、『ピノッキオ』のキツネなど、座の多くの作品に出演。こんにゃく座オペラ塾、キラリ☆かけき団の演出、ワークショップ、コンサート等活動をひろげている。



萩京子(ピアノ)

1956年東京生まれ。1978年東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。現在オペラシアターこんにゃく座の代表、音楽監督。

主なオペラ作品は、鄭義信の台本による『ロはロボットのロ』、『さよなら、ドン・キホーテ!』、その他『金色夜叉』、『ピノッキオ』、『アルレッキーノ』など。合唱曲「飛行機よ」、「みるく世がやゆら」や古今東西の詩人の詩によるソング多数。劇団俳優座、前進座、劇団仲間等、こんにゃく座以外の劇団の劇音楽も多数手がけている。

本企画に寄せて

音楽文化史ゼミでは、2014年から研究科の学術WEEKSで「音楽文化のトランスボーダー」と題して、ジャンルや文化圏、時代などを越境し、新たな問いを投げかける音楽文化の豊かさと可能性を、実際の舞台上演を通して紹介し、アフタートークではアートによる「文化的記憶」のありかたを問う機会を設けてきました。

Vol.7となる今回は、オペラシアターこんにゃく座代表で作曲家の萩京子さんと、歌手で俳優の岡原真弓さんをお招きし、ブレヒトやブレヒト以外の詞によるソングの世界、萩さんをはじめヴァイルやアイスラー、林光が作曲した「ソング」の世界をみんなで体験し、アフタートークでは、音楽文化史の文脈のなかでそのユニークな存在を明らかにしていきたいと思っています。

(大田美佐子)